

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）
〔PCT36条及びPCT規則70〕

REC'D 03 NOV 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 SP68	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/009913	国際出願日 (日.月.年) 12.07.2004	優先日 (日.月.年) 07.08.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ G06F17/60, H04L9/08, H04M3/42, 11/08, H04N7/16, 7/173		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 3 ページである。
 - ☐ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
 - ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で _____（電子媒体の種類、数を示す）。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
（実施細則第802号参照）

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 01.06.2005	国際予備審査報告を作成した日 21.10.2005		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 谷口 信行	5 L	9 4 6 7
電話番号 03-3581-1101 内線 3562			

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-24 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 12, 13 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1-11 _____ 項*、2005.06.01 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-16 ~~ページ~~/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第Ⅴ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-13	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-13	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-13	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: J P 2003-111045 A (ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社), 2003.04.11

文献2: J P 2002-32668 A (ソニー株式会社)
2002.01.31

文献3: J P 2002-281011 A (日本電信電話株式会社)
2002.09.27

文献4: J P 2002-149061 A (日本電気株式会社)
2002.11.15

請求の範囲1, 2, 12, 13に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1と文献2とにより進歩性を有しない。文献1には、プリペイドカードのID情報と楽曲を特定する情報がID管理サーバに送信され、ID管理サーバによりプリペイドカードの残高が管理され、該残高が楽曲の購入代金以上であれば、該楽曲データの再生を可能とするデータをユーザのプレーヤに送信する技術が記載されている。文献2には、プリペイドデータが一定度数以上の場合、暗号化されたコンテンツを復号化するための鍵が、コンテンツサーバ、認証/課金サーバからユーザ機器に送信され、毎回該復号化するための鍵によって該暗号化されたコンテンツが復号される技術が記載されている。してみると、文献1記載の技術と文献2記載の技術を組み合わせ、請求の範囲1, 2に係る発明の構成とすることは、当業者が容易になし得たことである。

(補充欄に続く)

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

請求の範囲 3-11 に係る発明は、文献 1、2 と国際調査報告で引用された文献 3、文献 4 とにより進歩性を有しない。文献 3 には、店舗に設置されたデータ装置端末がカード媒体に暗号化され記録されたコンテンツの ID をデータ管理センタに送信し、該データ管理センタが該コンテンツを復号するための鍵を該データ装置端末に送信し、該鍵が該カード媒体に記録される技術が記載されている。そして、文献 3 記載の技術においては、カード媒体に記録された複数のコンテンツの中からユーザが使用したいコンテンツが選択され、該選択されたコンテンツに対応する復号鍵が取得され該カード媒体に記録され、該カード媒体に記録された復号鍵を用いて該コンテンツが利用されるのだから、該コンテンツ ID と該復号鍵が対応付けられて該カード媒体に記録されていることは、当業者に自明である。ここで、コンテンツを記録する媒体と復号鍵を記録する媒体を同一のものとするか別個のものとするかは当業者が適宜選択し得た設計事項であるが、必要ならば、文献 4 を参照のこと。また、ユーザ機器がカードにコンテンツ ID を記録する構成とすることは、当業者が適宜なし得た設計事項である。

請求の範囲

- [1] (補正後) ライセンスサーバと課金サーバとコンテンツ再生装置とを通信ネットワークで接続し、

前記コンテンツ再生装置は、金銭情報を特定する課金IDをプリペイドカードから読み出し、暗号化コンテンツを特定するコンテンツIDと該課金IDとを送信して前記ライセンスサーバから復号用情報を取得して記憶しておき、前記暗号化コンテンツを復号するときには、前記記憶しておいた復号用情報によって毎回復号して再生し、

前記ライセンスサーバは、受信したコンテンツIDから求めた課金額と前記課金IDとを送信して前記課金サーバから課金結果を取得し、該課金結果が課金成功であるときには前記コンテンツIDに対応する復号用情報を前記コンテンツ再生装置に返信し、

前記課金サーバは、受信した課金IDに対応する金銭情報が受信した課金額より大きければ、該金銭情報から該課金額を減額して課金成功を返信する課金システム。

- [2] (補正後) ライセンスサーバと課金サーバとコンテンツ再生装置とを通信ネットワークで接続し、

前記コンテンツ再生装置は、金銭情報を特定する課金IDをプリペイドカードから読み出し、暗号化コンテンツを特定するコンテンツIDと該課金IDとを送信して前記ライセンスサーバから復号用情報を取得して記憶しておき、前記暗号化コンテンツを復号するときには、前記記憶しておいた復号用情報によって毎回復号して再生し、

前記ライセンスサーバは、受信したコンテンツIDと課金IDとを送信して前記課金サーバから課金結果を取得し、該課金結果が課金成功であるときには前記コンテンツIDに対応する復号用情報を前記コンテンツ再生装置に返信し、

前記課金サーバは、受信した課金IDに対応する金銭情報が受信したコンテンツIDから求めた課金額より大きければ、該金銭情報から該課金額を減額して、課金成功を返信する課金システム。

- [3] (補正後) コンテンツ再生装置とライセンスサーバと課金サーバとライセンス販売機とを備え、該ライセンスサーバと該課金サーバと該ライセンス販売機とを通信ネットワークで接続し、

前記ライセンス販売機は、ライセンスカードを読み取って、暗号化コンテンツを特定する

コンテンツIDに復号用情報が存在しないとき、金銭情報を特定する課金IDと前記コンテンツIDとを該ライセンスカードから読み出し、該コンテンツIDと該課金IDとを送信して前記ライセンスサーバから復号用情報を取得し、該復号用情報を前記コンテンツIDと対応させて前記ライセンスカードへ記録し、

前記コンテンツ再生装置は、前記ライセンスカードを読み取って、暗号化コンテンツを特定するコンテンツIDに対応する復号用情報を取得して記憶しておき、前記暗号化コンテンツを復号するときには、前記記憶しておいた復号用情報によって毎回復号して再生し、

前記ライセンスサーバは、受信したコンテンツIDから求めた課金額と前記課金IDとを送信して前記課金サーバから課金結果を取得し、該課金結果が課金成功であるときには前記コンテンツIDに対応する復号用情報を前記コンテンツ再生装置に返信し、

前記課金サーバは、受信した課金IDに対応する金銭情報が受信した課金額より大きければ、該金銭情報から該課金額を減額して課金成功を返信する課金システム。

- [4] (補正後) コンテンツ再生装置とライセンスサーバと課金サーバとライセンス販売機とを備え、該ライセンスサーバと該課金サーバと該ライセンス販売機とを通信ネットワークで接続し、

前記ライセンス販売機は、ライセンスカードを読み取って、暗号化コンテンツを特定するコンテンツIDに復号用情報が存在しないとき、金銭情報を特定する課金IDと前記コンテンツIDとを該ライセンスカードから読み出し、該コンテンツIDと該課金IDとを送信して前記ライセンスサーバから復号用情報を取得し、該復号用情報を前記コンテンツIDと対応させて前記ライセンスカードへ記録し、

前記コンテンツ再生装置は、前記ライセンスカードを読み取って、暗号化コンテンツを特定するコンテンツIDに対応する復号用情報を取得して記憶しておき、前記暗号化コンテンツを復号するときには、前記記憶しておいた復号用情報によって毎回復号して再生し、

前記ライセンスサーバは、受信したコンテンツIDと課金IDとを送信して前記課金サーバから課金結果を取得し、該課金結果が課金成功であるときには前記コンテンツIDに対応する復号用情報を前記コンテンツ再生装置に返信し、

前記課金サーバは、受信した課金IDに対応する金銭情報が受信したコンテンツIDから求めた課金額より大きければ、該金銭情報から該課金額を減額して、課金成功を返信す

る課金システム。

- [5] (補正後) 請求項3または4に記載の課金システムにおいて、前記コンテンツ再生装置は、再生対象の暗号化コンテンツのコンテンツIDが前記ライセンスカードに存在しないときは、該コンテンツIDを前記ライセンスカードへ記録する課金システム。
- [6] (補正後) 請求項1乃至5のいずれかに記載の課金システムにおいて、前記通信ネットワークでのデータのやり取りを暗号化して行う課金システム。
- [7] (補正後) 請求項1乃至6のいずれかに記載の課金システムにおいて、前記課金ID及び／または前記復号用情報に有効期限を設けた課金システム。
- [8] (補正後) 請求項1乃至7のいずれかに記載の課金システムにおいて、前記ライセンスサーバは、前記課金IDごとに利用したコンテンツのコンテンツIDを利用履歴として記録する課金システム。
- [9] (補正後) 請求項1乃至8のいずれかに記載の課金システムにおいて、前記ライセンスサーバは、前記コンテンツIDごとの利用回数を利用履歴として記録する課金システム。
- [10] (補正後) 暗号化されたコンテンツを復号して利用するコンテンツ再生装置において、再生対象の暗号化コンテンツのコンテンツIDを入力する入力部と、プリペイドカードに記憶された課金IDと、前記入力部で入力されたコンテンツIDとから復号用情報を要求するプリペイドカード読み取り部と、取得した復号用情報によって前記暗号化コンテンツを復号する復号部とを備え、前記暗号化コンテンツを利用する都度、前記取得した復号用情報で復号して再生するコンテンツ再生装置。
- [11] (補正後) コンテンツ再生装置で暗号化コンテンツをライセンスカードに記録された復号用情報によって毎回復号して再生する場合に、前記ライセンスカードには、暗号化コンテンツのコンテンツIDと、該暗号化コンテンツを復号するための復号用情報とを対応させ、また、金銭情報を特定する課金IDを記憶させておき、前記ライセンスカードを読み取ったときに、再生対象のコンテンツIDに対応する復号用情報が存在しない場合、該コンテンツIDと該課金IDとから復号用情報を要求するライセンスカード読取部と、取得した復号用情報を前記コンテンツIDと対応させて前記ライセンスカードに記録するライセンスカード書出部とを備えるライセンス販売機。